

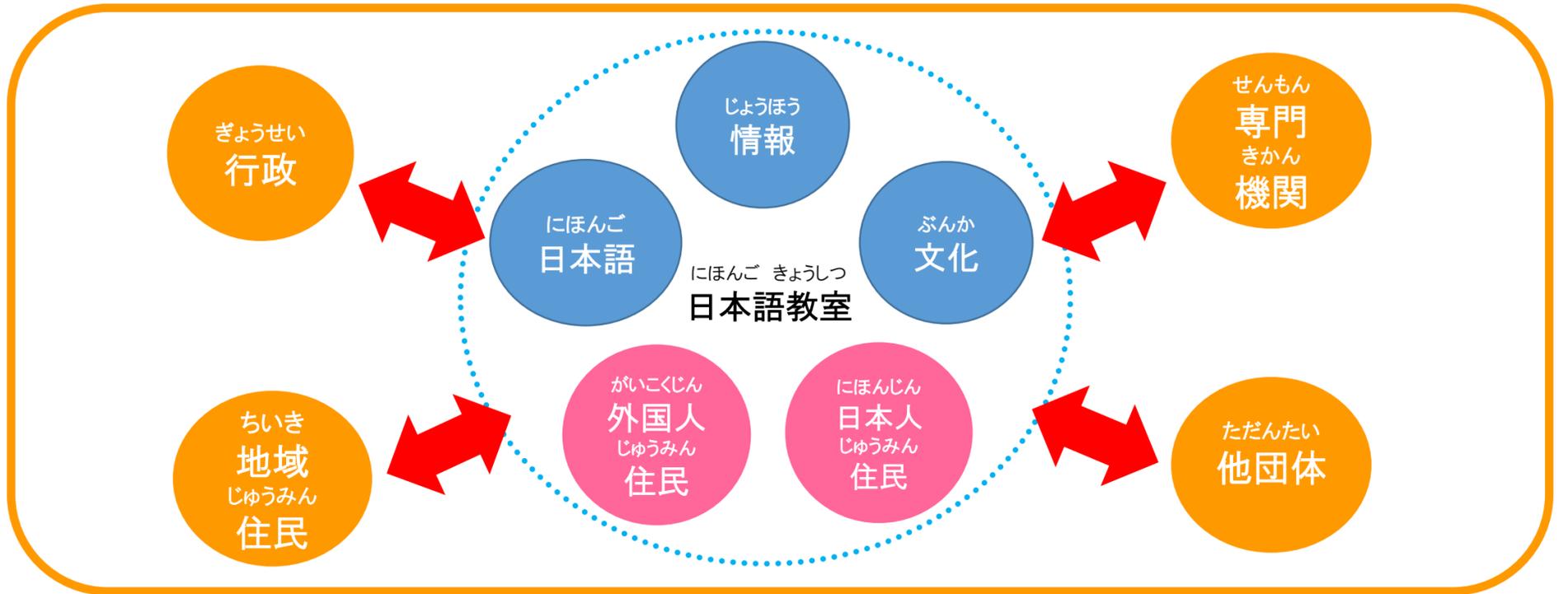
# 外国人住民と地域をつなげるプラットフォームとしての日本語教育体制づくり

## 1. 背景

H27年度「市民が主役！参加型ワークショップを通じた体制整備事業1.0」の実施

日本語教室は、外国人住民にとってだけでなく日本人住民にとっても  
さまざまな文化・情報に触れる相互理解の場

“地域の多文化共生の出発点であり、育むプラットフォーム(基盤)”

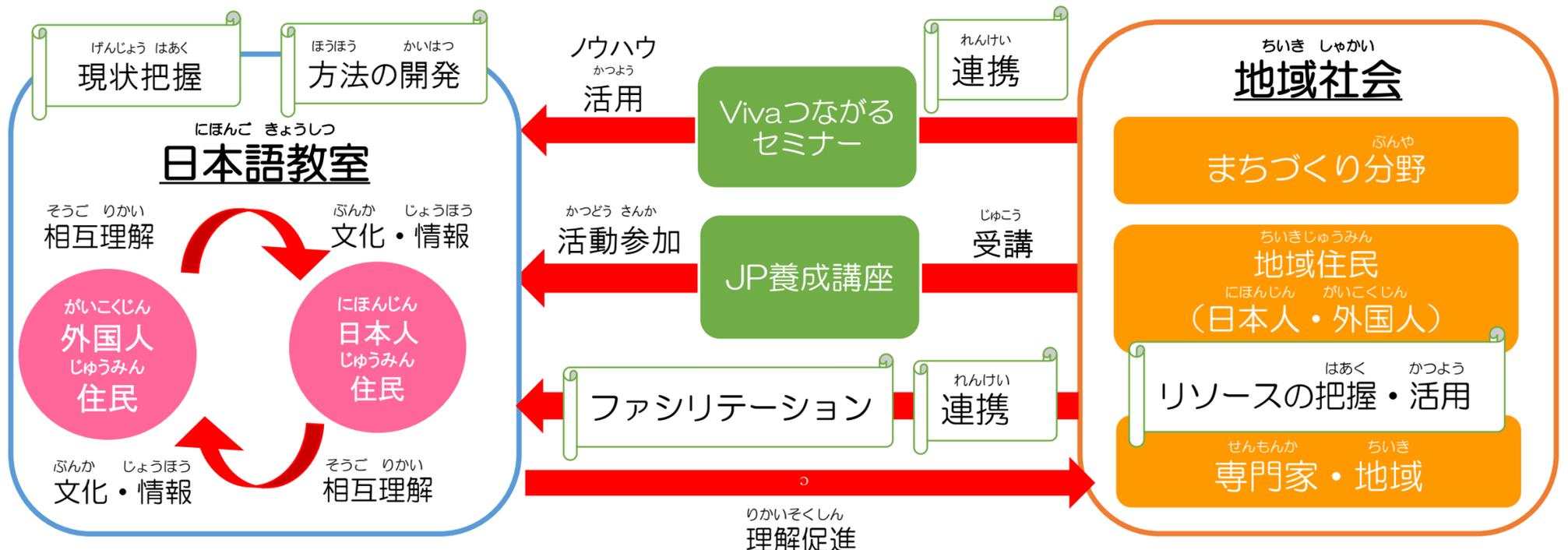


## 2. 地域の課題

- ① 地域とつながる日本語教育の必要性が認識されていない
- ② 外国人住民の地域参加をつくる／日本語教育に関わる人材の不足

## 3. 課題解決のための方法と手順

- ① 情報発信、Vivaつながるセミナー開催
- ② 対話・活動補助ボランティア『日本語パートナー(JP)』養成講座



とりくみ しみん さんさんがた

# 【取組1】市民参加型ワークショップ

がいこくじんしみん にほんじんしみん ふく がいこくじん せいかつ ひつよう にほんご  
外国人市民も日本人市民も含めて、外国人の生活に必要な日本語  
きょういく かんが きぞん にほんごきょうしつ わく とら  
教育について考え、既存の日本語教室の「枠」に囚われない、そして  
しゃかいぜんたい しょうらい みす たいせい けんどう  
社会全体とその将来を見据えた体制・プログラムを検討する



じっし ないよう じかん かい  
【実施内容】 13:00~15:00(2時間)×7回

かい 回	にっせい 日程	ないよう 内容	ねらい	さんかにんずう 参加人数
1	6/28	しゆしせつめい さんかしゃ じぶん 主旨説明、参加者が自分の狙いを設定	さんかしゃ じぶんじしん ねら せつてい 参加者が自分自身の狙いを設定し、今後のWSに取組む姿勢作り	めい 23名
2	7/5	おかざきし がいこくじん じょうきょう 岡崎市の外国人の状況 こうし どういよしひこ し 【講師】土井佳彦氏	がいこくじん じょうきょう かだい りかい 外国人の現状と課題を理解する	めい 16名
3	7/19	がいこくじん き 外国人に聞いてみよう	がいこくじんしみん なま こえ き にほんご 外国人市民の生の声を聞き、日本語教育で何ができるか考える	めい 10名
4	8/2	ちいき にほんごきょういく 地域と日本語教育 こうし きたむらゆうと し 【講師】北村祐人氏	ちいき せつてん にほんごきょういく 地域との接点を日本語教育/プログラムにどう落とし込めるか学ぶ	めい 10名
5	8/23	おかざき にほんごきょういく かだい 岡崎の日本語教育の課題 かいけつさく かんが と解決策を考えよう	おかざき にほんごきょういく なか ぐたいてき 岡崎の日本語教育の中から、具体的に対策を考える課題を選ぶ	めい 6名
6	9/6	かいけつさく づ 解決策のプログラム作り	かいけつさく ぐたいてき ないよう けんどう 解決策の具体的な内容を検討し、行動計画を立てる	めい 7名
7	10/4	まとめ	かだい かいけつ けいかく 課題をどのように解決するか計画をまとめる	めい 8名

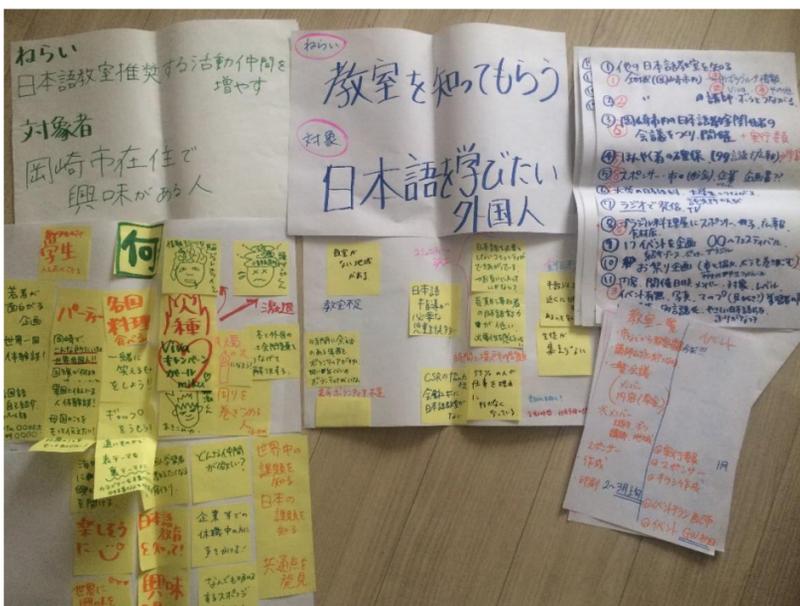
さんかにんずう こと にんずう めい  
【参加人数】 異なり人数: 36名

さんかしゃ ぞくせい  
◇参加者属性

- にほんごきょうしつ ただんたいふく  
・日本語教室ボランティア(他団体含む)
- がいこくじん しみん  
・外国人市民
- ぎょうせいしよくいん あいちけん おかざきし かりやし  
・行政職員(愛知県、岡崎市、刈谷市)
- だいがくせい だいがくしよくいん  
・大学生、大学職員
- けんぎかいぎいん  
・県議会議員
- た ぎょうせいしよし  
・その他(行政書士)

さんかしゃ こえ  
【参加者の声】

- にほんご「きょうしつ なか かんが れんけい  
・1つの日本語教室の中でばかり考えていて、連携や  
ぜんたい かんが してん きづ  
全体のことを考える視点がなかったことに気付いた
- がいこくじん いろいろ ひと じっかん  
・外国人といっても色々な人がいるのだと実感したし  
じっさい がいこくじん はなし き  
実際に外国人に話を聞いてよかった



けつか  
【結果】

- か だいい がいこくじん にほんご きょうしつ そんざい し  
課題① 外国人に日本語教室の存在を知られていない
- かいけつさく がいこくじん しみん む にほんごきょうしつ づ  
解決策① 外国人市民向け日本語教室のリスト作り
- もく ひょう がいこくじん しみん しなひ にほんごきょうしつ じょうほう み  
目標 外国人市民が市内の日本語教室についての情報をまとめて見れる  
にほんご きょういく ひつようせい ちいき にほんじん しみん し  
日本語教育の必要性を地域の日本人市民に知ってもらう
- か だいい にほんごきょういく かか なかま すく  
課題② 日本語教育に関わる仲間が少ない
- かいけつさく なかま こうりゆう てきてき かいさい  
解決策② 仲間づくりのための交流イベントを定期的で開催する
- もく ひょう ちいき く がいこくじん かんしん も にほんじん ふ  
目標 地域に暮らす外国人に関心を持つ日本人を増やす  
にほんじん がいこくじん かお み かんけい  
日本人と外国人が顔の見える関係になる

せい か かい

## Vivaおかざき!!としての成果と課題

にほんじんしみん がいこくじんしみん ふく たよう さんかしゃ おかざき にほんご きょういく けんどう ば  
・日本人市民も外国人市民も含め、多様な参加者と岡崎の日本語教育について検討する場をつくれた

おかざきしなひ きぞん にほんごきょうしつ さんか すく とうだんたい かつどう にほんご きょういく かのうせい ていじ ひつようせい  
・岡崎市内の既存の日本語教室ボランティアの参加が少なかった ⇒ 当団体の活動をサンプルに、日本語教育の可能性を提示する必要性

とりくみ せいかつ やくだ にほんご きょうしつ  
**【取組3】①生活に役立つ日本語教室**

がいこくじんじゅうみん じっせいかつ にほんご せいかつちしき まな にほん  
 外国人住民の実生活につながる日本語と生活知識を学ぶことで、日本  
 しゃかい ふ もくてき きょうしつ  
 社会でできることを増やすことを目的にした教室。



◆コースⅠ

じっぴ  
**【実施時】** 2015年6月7日  
 ~8月9日(全10回)  
 15:00~17:00  
**【テーマ】** 買い物(スーパー)、バスの乗り方  
 ぶんべつ  
 ゴミ分別

さんかにんずう こと にんずう  
**【参加人数(異なり人数)】**

- ・ 学習者 : 49名(70%出席 11名)
- ・ 日本語パートナー: 31名(50%出席7名)

◇参加者国籍

さんかしや こくせき  
 ブラジル、フィリピン、ペルー、モンゴル  
 中国、ベトナム、インドネシア、アルゼンチン  
 オーストラリア

◆コースⅡ

じっぴ  
**【実施時】** 2015年11月22日  
 ~2016年1月24日(全7回)  
 15:00~17:00  
**【テーマ】** 買い物(道の駅)  
 でんしゃ の かた  
 電車の乗り方

さんか にんずう こと にんずう  
**【参加人数(異なり人数)】**

- ・ 学習者 : 8名(70%出席4名)
- ・ 日本語パートナー: 21名(50%出席6名)

◇参加者国籍

・ ブラジル、ペルー、フランス、イスラエル

◆コースⅢ

じっぴ  
**【実施時】** 2016年2月28日  
 ~2016年3月6日(全2回)  
 15:00~17:00  
**【テーマ】** 問診票の書き方  
 もんしんひょう か かた  
 くすり ふくろ  
 薬の袋

さんか にんずう こと にんずう  
**【参加人数(異なり人数)】**

- ・ 学習者 : 14名
- ・ 日本語パートナー: 10名

◇参加者国籍

・ ブラジル、ペルー、フィリピン、フランス、イスラエル

とりくみ せいかつ やくだ きょうしつ  
**【取組3】②生活に役立つよみかき教室**

よ か のうりよく いくせい がいこくじんじゅうみん しゃかいてき じりつ めぎ  
 読み書き能力を育成することで、外国人住民の社会的な自立を目指す  
 がいこくじんじゅうみん じこ ひょうげん ば もくてき きょうしつ  
 とともに、外国人住民の自己表現の場をつくることを目的とする教室。



じっぴ  
**【実施時】** 2015年8月30日  
 ~10月25日(全8回)  
 15:00~17:00  
**【テーマ】** 救命救急の基礎  
 きゅうめいきゅうきゅう き そ  
 しょうかき つか かた  
 消火器の使い方

さんか にんずう こと にんずう  
**【参加人数(異なり人数)】**

- ・ 学習者 : 10名 (70%出席 5名)
- ・ 日本語パートナー: 10名

◇参加者国籍

さんかしや こくせき  
 ブラジル、フィリピン、ペルー、ベトナム、アメリカ

さんかしや こえ  
**【参加者の声】**

がくしゅうしゃ  
 ◇学習者(生活に役立つ日本語教室)

- ・ すぐに使えるに日本語が勉強できました。実用的な内容がよかった。
- ・ 日本人との交流の時間がたっぷりあって、会話の練習ができた。

がくしゅうしゃ きょうしつ  
 ◇学習者(よみかき教室)

- ・ ひらがな、カタカナを練習するだけでなく、消火器  
 や救命講習を学べたのがよかった

にほんご  
 ◇日本語パートナー

- ・ 今まで、外国人にどう関わったらいいかわからずにいたけれど、ゆっくり話せば  
 伝わることを知って、これからは日本語で話しかけてみようと思いました。

とりくみ しえん やくだ にほんご きょうしつ  
**【取組3】③支援に役立つ日本語教室**

きんきゆうじ さいがいじ しえんしゃ にほんご ちいき まな せんもん きかん  
 緊急時・災害時に支援者になるための日本語と知識を学び、専門機関と  
 れんけい じっせんてき とお ちいき ささ じんざいくせい もくてき  
 連携した実践的なプログラムを通して、地域を支える人材育成を目的とし  
 た教室。



じっぴ  
**【実施時】** 2015年8月30日  
 ~10月25日(全8回)  
 15:00~17:00

**【テーマ】** 救命救急、119番通報  
 避難所・避難方法  
 支援者としてできる事を考えよう

さんか にんずう こと にんずう  
**【参加人数(異なり人数)】**  
 がくし ゆう しゃ めい  
 ・ 学習者 9名 (70%出席 6名)  
 にほんご めい  
 ・ 日本語パートナー10名  
 さんかしゃ こくせき  
 ◇参加者国籍  
 ブラジル、フィリピン、ペルー、中国、  
 ベトナム、フランス

さんかしゃ こえ  
**【参加者の声】**  
 がくしゆうしゃ  
 ◇学習者  
 きんきゆうじ まな  
 ・ 緊急時について、たくさん学ぶことができました  
 さいがい とき にほんじん がいこくじん こま じぶん  
 ・ 災害の時に日本人や外国人が困っていたら、自分  
 ができることをして、周りの人を助けたいと思います  
 にほんご  
 ◇日本語パートナー  
 きょうしつ おも  
 ・ 教室のテーマがはっきりしていて、いいと思った

きょうしつ とくちよう  
**【教室の特徴】**

1) 日本語パートナー(活動・会話補助ボランティア)の導入  
 たいわ とお がいこくじん じゆうみん にほんご まな  
 ・ 対話を通して、外国人住民がリアリティある日本語を学ぶ。  
 ちいき じょうほうこうかん ちいき じゆうみん こうりゆう も  
 ・ 地域についての情報交換や、地域の住民として交流を持つ。  
 にほんご きょういく にな て  
 ・ 日本語教育の担い手としてだけでなく、  
 がいこくじんじゆうみん りかい ちいき ささ そんざい  
 外国人住民を理解し、地域で支える存在になる。

2) オリジナルの教材  
 きょうざい  
 ・ Can-do Statementsを活用した目標設定と評価  
 かつよう もくひようせつてい ひょうか  
 ・ 学習者の気づき、学びを見える化する書き込み型ワークシート  
 がくしゆうしゃ き まな み か か こ がた  
 ・ ポートフォリオとふりかえりシートの活用  
 かつよう

3) 地域への情報発信

さいがいじ つうやく ようせい こうざ  
**■ 災害時通訳ボランティア養成講座**  
 しえん やくだ にほんご きょうしつ がくしゆうしゃ めい さんか  
 ・ 「支援に役立つ日本語教室」の学習者4名が参加  
 たげんご しえん でんわ つうやく れんしゆう  
 ・ 多言語支援センターで電話での通訳練習  
 おかざきし しゃかい ふくし きょうぎかい さいがい こうざ いちぶ さんか  
 ・ 岡崎市社会福祉協議会 災害ボランティア講座の一部に参加

じょうほう はっしん  
**■ 情報発信**

だんたい かつよう  
 ・ SNS(団体ブログ、facebook)の活用  
 にほんご きょういく じぎょう かんけい けいさいすう けん  
 日本語教育事業関係のブログ掲載数: 44件(3,080PV)  
 すう しみん さんか かつた せいかつ やくだ にほんご きょうしつ せいかつ やくだ きょうしつ しえん やくだ にほんご きょうしつ  
 facebookページ数: 4つ(市民参加型ワークショップ、生活に役立つ日本語教室、生活に役立つよみかき教室、支援に役立つ日本語教室)  
 えいぞう きろく さくせい  
 ・ 映像による記録作成

にほんごこうし  
**日本語講師**  
 じゆぎょう しんこう  
 ・ 授業の進行  
 ぜんたい  
 ・ 全体コーディネート

がくしゆうしゃ  
**学習者**

にほんご  
**日本語パートナー**  
 がくしゆうしゃ いっしょ まな  
 ・ ○学習者と一緒に学ぶ  
 おし せんせい  
 × 教える先生



# Vivaつながるセミナー



## ①地域とつながる★協働のデザイン

【日時】2015年10月11日(日) 12:30~15:00

【講師】伊東浄江氏(NPO法人トルシーダ)

- 【内容】・トルシーダ活動紹介  
 ・自己紹介・現状確認ワーク  
 ・先進事例をみてみよう(あいち地域日本語ハンドブック)  
 ・課題と解決策を考えよう(グループワーク)

【参加人数】14名

### ◇参加者属性

- 日本語教室ボランティア (他団体含む)
- 大学生、大学職員
- 行政職員(刈谷)
- 行政書士
- その他

### 【参加者の声】

- 協働や連携は大事だとは思いつつ、どうしたらいいかわからず困っていたので、実際に協働している方の話が聞けてよかった
- グループワークで解決策としてどんな協働先、協力者がいるか考えることで、自分の思いつかないアイデアも出て参考になった



## ②日本語教室に活かす★まちづくりのノウハウ

【日時】2015年11月29日(日) 10:00~15:00

【講師】中脇健児氏(場とコトLAB・まちづくり)

- 【内容】・地域を巻き込んだまちづくり事例紹介  
 ・つながる・連携のコツ  
 ・妄想プランをたててみよう!

【参加人数】15名

### ◇参加者属性

- 日本語教室ボランティア (他団体含む)
- 大学生、大学職員
- 県議会議員
- 外国人市民
- その他

### 【参加者の声】

- はじめの一步を踏み出すのに、参考になるキーワードがたくさんあった
- 日本語教室ということで何となく縛られていた自分に気づき、今回のワークショップでは自由にいろいろな発想ができて楽しかった
- 話を聞くだけでなく、アイデアの出し方を体感できたのがよかった

## Vivaおかげさまで！としての成果と課題

・地域との「協働」「つながる」をキーワードに、日本語教育の関係者に新しい視点をあたえる機会にできた

・市外や県外からの参加者もあり、いろいろな地域の人とつながりができた ⇒ 具体的なキーワードを軸につなげるネットワーク

たいわ かつどう ほじょ 対話・活動補助ボランティア「日本語パートナー」養成講座  
 にほんご ようせい こうざ



じっし ないよう  
**【実施内容】**

かい 回	にってい 日程	じかん 時間	ないよう 内容	さんかにんずう 参加人数
1	5/29	オリエンテーション 10:00~12:00	もくてきかくにん ・目的確認 まな してん こころがま ・OJTの学ぶべき視点・心構え	めい 21名
2	6/12	日本語教室13:30~16:30 ふりかえり 16:30~17:30	<プレOJT(On the Job Training)> じっさい にほんご きょうしつ さんか ・実際に日本語教室に参加しよう	めい 20名
3	6/19	ワークショップ 10:00~12:00	き ちから 「コミュニケーション・聴く力」 こうし わかばやし し 【講師】若林かおり氏 (株)ナチュラル・コーチ	めい 12名
4	6/26	ワークショップ 10:00~12:00	はつわ ひ だ きょうしつかつどう 「発話を引き出す教室活動」 こうし ちば つきか し なごや だいがく だいがくいん 【講師】千葉月香氏 名古屋大学大学院	めい 13名
5	6/26 7/3	日本語教室13:30~16:30 ふりかえり 16:30~17:30	じっせん 実践OJT① にほんご きょうしつ かつどう ・日本語教室で活動してみよう	めい 13名 9名
6	7/17 7/24	日本語教室13:30~16:30 ふりかえり 16:30~17:30	じっせん 実践OJT② にほんご きょうしつ かつどう ・日本語教室で活動してみよう	めい 7名 11名
7	7/31	ワークショップ 10:00~12:00	せんたい ・全体ふりかえり こうどうせんげん ・これからの行動宣言	めい 13名

さんかにんずう こと にんずう めい  
**【参加人数】 異なり人数： 26名**

- さんかしゃ ぞくせい  
 ◇参加者属性  
 きぞん にほんごきょうしつ  
 ・既存の日本語教室ボランティア  
 しんき  
 ・新規ボランティア  
 にほんご こうし  
 ・日本語教師  
 だいがくせい だいがくしよくいん  
 ・大学生、大学職員

- 【プログラムのポイント】**  
 ①ワークショップによる基礎知識の獲得  
 きそ ちしき かくとく  
 ・コーチングの姿勢を学ぶ  
 しせい まな  
 ・目指す日本語パートナー像の共有  
 めざ にほんご ぞう きょうゆう  
 ②OJTによる実践活動  
 ざかく まな ば  
 ・座学ではない学びの場  
 だいがくせい だいがくしよくいん  
 ・ワークショップでの学びをすぐ実践につなげる

せい  
**4. 成果**

- ちいき にほんご きょういく かか じんざい はつくつ  
 ・地域で日本語教育に関わる、つながる人材の発掘ができた。  
 (H27実績 日本語パートナー:異なり数62名、ワークショップ参加者:65名)
- にほんご きょういく とう たぶんや れんけい とお にほんご きょういく も かのうせい  
 ・日本語教育とまちづくり等の他分野との連携を通して、日本語教育の持つ可能性  
 けんとう ば も  
 について検討する場を持たた。
- だんたい えいぞう きろく かつよう ひろ じょうほうはっしん おこな  
 ・SNS(団体ブログ、facebook)や映像記録を活用し、広く情報発信を行えた。

じっせき にほんご きょういく じぎょう かんけい けいさいすう けん  
 (H27実績 日本語教育事業関係のブログ掲載数… 44件(3,080PV))

すう しみん さんか がた  
 facebookページ数:4つ …市民参加型ワークショップ  
 せいかつ やくだ にほんご きょうしつ  
 生活に役立つ日本語教室  
 せいかつ やくだ きょうしつ  
 生活に役立つよみかき教室  
 しえん やくだ にほんご きょうしつ  
 支援に役立つ日本語教室



こんご かだい  
**5. 今後の課題**

- とりくみ かつどう わ じょうほうはっしん  
 ・取組のポイント、モデル活動を分かりやすくまとめ情報発信をする。
- じんざい いくせい かくりつ  
 ・人材育成のプログラムの確立。